



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENT
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

JULY, 1985 IV-1

1985-1986 THEME

- 「Service with Enthusiasm」 — 熱誠もて奉仕を — IP
 「How Young are You ?」 — 若がえるワイズ, 湧きおこるY魂 — RD
 「積極的な行動でワイズの輪を広げよう」 DG
 「着こなそう ふだん着のワイズダム」 P

Thought for the month

For God so loved the world that he gave his one and only Son, that whoever believes in him shall not perish but have eternal life

(JOHN 3:16)

“神は、その独り子をお与えになるほど、この世を愛された。子を信じる人が一人も滅びないで、永遠の生命を受けるためである。

(ヨハネスによる福音 第3章16節)

PROGRAM

7月例会

DATE : 7月17日(水) 18:30 ~ 20:30

PLACE : 大阪YMCA会館 9階集会室

- 司会 皆本勝久君
- 開会 山田 会長
 - ワイズソング 一 同
 - 聖句朗読 浦野啓一君
 - ゲスト紹介 山田 会長
 - 食前感謝「日々の糧」晚さん 一 同
 - 会長、役員、各事業委員長所信表明
 - アジア大会報告
 - 誕生日のお祝い
 - ニコニコアワー
 - 役員会、委員会報告、YMCAニュース
 - 閉会 山田 会長

第2例会

DATE : 7月24日(水) 18:30 ~ 20:30

PLACE : YMCA国際・社会奉仕センター

DATES for MAKE-UP & FELLOWSHIP



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	1	2 サウス	3 枚方	4	5 比野	6 紀の川
7	8	9 大阪	10 高槻千里	11 堺	12	13 奈良
14	15	16 土佐堀豊中	17 センテニアル①	18 河内和歌山	19 泉北	20
21	22	23	24 センテニアル②	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

例会日時、会場の詳細は名簿参照。尚変更、食事の準備への配慮から各自で必ず事前に連絡のここと。(当クラブ内の事前申告も必ず履行)

▼例会当番〔浦野、黒田、村田、松添、皆本〕

EMPHASIS THIS MONTH

EMC
キック・オフ
 See Page 2

statistics (統計)

6月例会出席状況 (在籍会員36名)		ニコニコ 献 金	B F ポイント	ファンド 6月末累計
メ	ン	6月	6月	※年次決算 後8月号 より掲載
出 席 率	20 名	15,500 円	(※単月数字は8月号より)	
メ ネット	55 %	累計 (会計年度)	累計 (4~6月) 切手 634P	
コ メ ッ ト	1 名			
コ メ ッ ト	0 名	計	計	
ヴィ ジ タ ー	2 名			
計	23 名			

今月の聖句によせて

キリスト教の真髄を明確に表わしたこの聖句は、非常に力強く私達を迫り、それに対する神への応答として信仰告白を以てすることを神が求めておられると思います。ここで神の愛はそのひとり子さえ私達の罪を贖うために十字架につけられた全人類を救おうとされた非常に大き

な厳粛な意義を含んでおります。この神の私達への働きかけに対して、私達は主の前に出るにふさわしからざる罪多き僕であるにも拘らず主の十字架の愛によって救われたことを信ずる信仰をもってお応えしなければならないことを痛感するものであります。(福永嘉彦)

Pres. T. YAMADA SPEAKS:

着こなそう、ふだん着のワイズダム

会長 山田孝彦

わがセンテニアルクラブも9月25日には満3才になろうとしております。昨年は中村会長が「新しい伝統を創ろう」と、クラブの性格形成を意識した運営を進められました。そして今では、われわれが集まると何となく、「センテニアルらしい」ムードを醸し出すようになって来ました。言ってみれば「力まず、騒がず」「自然体で」とか「さりげなく」ワイズを楽しむという雰囲気でしょうか。

これを私流に「ふだん着のワイズダム」と名づけてきました。ワイズに参加すること— 例会に出たり、切手を集めたり、YMCAに協力したりといったことを特別に枠にはめこまず、日々の暮らしの中で3度の食事をするようなごくふだん着の部分で考えたり、行動したり出来るようになりたいものです。こんな願いから今年のテーマを「着こなそう、ふだん着のワイズダム」としました。

ふだん着といえども、「着こなそう」と思えばそれなりの知識とセンスが必要となります。「決まるべき所はピシリ決める」ためにも、ワイズの本質についてのわきまえがなくてはならないと思います。私達もこゝで一度、チャーターの時、或は入会を決意した時の思いに立ちかえって、「ワイズダムにおけるサービスの意味」など考えて見るの

もよいことだと思いますが……。

さて、「ワイズは全員の参画によって運営する」という基本ののっとり、会長としましては、ワイズダムの活動に出来る限り多くのメン・メネットが参加され、又クラブの運営に参与して頂くようにアレンジをするプロデューサーに徹したいと考えております。皆さん方に「あれをして下さい」「この会合に出て下さい」としつこい位に声をかけるつもりですが、「ワイズに入った以上はこれが宿命」とでも受け止めてご協力をお願いします。

また、メン・メネットの皆さんに片寄りなくワイズ理解を深めて頂くためにも、クラブのニュースやワイズ全体の活動状況などの情報をキメ細かくお知らせをするつもりです。面倒がらずにぜひメンもメネットもお読み下さい。

満3才といえ早い子供は幼稚園に行きます。初めて家族以外の他人と交わり社会性を身につけ一段と成長する年齢です。センテニアルクラブも「ふだん着のワイズダム」を個性として、中西部・日本区の他クラブとの交わりを拡げてワイズメンズクラブの中での成長を促進したいものです。



T. MATSUZOE SPEAKS:

全員がEMCマインドを!

EMC委員長 松添 仕

だろうと内心期待しております。

つまりIBCもEMCのMEMBERSHIPに一役買っている訳で各委員会の間にも色々な形で連繫可能を示しています。過日もメアヌクラブから切手を2千枚も贈送され早速メンバーの皆さんから日本切手を相当数相手クラブに送り喜ばれた次第です。クラブの新設までは未熟な現状ですが先ず我々のクラブの内容充実に向け、返るバネの力でEXTENSIONにまで及び得ればと心しております。皆さんの御指導御協力を期待します。



EMC (EXTENSION, MEMBERSHIP, CONSERVATION) の事業内容は文字通り、クラブの新設、会員増加、クラブの維持発展のための運動展開、出席奨励であります。私は前期IBCの事業の結びとして、この7月14日から、ホノルルの、我々の兄弟クラブであるメアヌ・ワイズメンズの希望に応じてハワイ区年次大会に参加すべく20日まで近隣クラブの協力を得てグループを組んで現地に参加します。その中には数名の非メンバーも友として同行されますがブラザークラブのホームステイでの歓迎ぶりにきっと感銘を受けられ国際組織としてのワイズメンの素晴らしさを体験され認識を新たにクラブに入会される

Y'S MENETTES & Y'S LINGS (メネットとコメット)



まず“出会い”から道は開く

メネットとして3年間ワイズのお仲間に入れて頂き、今思いますことは、自分の目の前の世界が随分広がったということです。

ワイズメンズクラブの皆さんは、年齢や職業や肩書の違いを越えてワイズダム仲間としての交わりですから、実に自由で飾らない親しさでいっぱいのもうです。とは申せそれぞれ異った分野で仕事に取り組んでいる皆様ですから、その考え方や生き方が誠に多様で、そんな皆さんのお話を聞くだけでも新鮮で、驚いたり感心したりの連続です。メンばかりでなくメネット方との交流も同様に楽しく、その都度目先が開けるような年間でした。

私達は日頃とかく家庭の内のことに目を奪われ、狭い範囲の情報や体験に終始しがちです。そんな中で、子供のことや内輪の人間関係などで悩んだり迷ったりしております。

センテニアルメネット会長 山田道子

ワイズでの出会いを通して、市の広い、目先の開けたヒントや指針を得ることも多いのではないのでしょうか。

今センテニアルメネット会では、例会や行事に参加される方が少し特定の方に片寄って来たように見うけます。いろいろお忙しいご都合もおありでしょう。特にお子様の大切な時期にある方はいろいろ制約もございましょう。そんな方にもご参加頂けるように時間や場所の設定に気くばりをして誘いたいと思っております。

「ワイズメネットはメンの活動を理解し、助けワイズメン運動を盛り上げる」とか「メネットは愛らしく、美しく、力強く」という基本的なこともあります。先づ参加して見なければ何も始まりません。出会いが生まれた所に道が開け、新しい世界も見えてくるものと信じて、とにかくお出かけ下さることをお願いいたします。

HAPPY BIRTHDAY

誕生石は ruby(ルビー)
Friendship(友情)

安福又四郎兄	7.15
(1921)	
多田 幸子姉	7.22
皆本メネット	7.29

7月の花は water-lily(水蓮)
Purity of heart(心の清純)

COMINGS & GOINGS

- ・坂田兄(入院中)への病気見舞寄せ書に対し、礼状ハガキをいただいた。
- ・鈴木夫妻、安福夫妻、谷川兄は6月21日~24日までの、香港におけるアジア大会に参加しました。
- ・ハワイ大会への参加者は、当クラブから松添兄、谷川兄、谷川メネット、森兄、森メネット、多田姉、中村兄の7名です。
- ・谷川夫妻は7月17日からのハワイ・コナで開かれるアメリカ地区大会に参加。更に7月20日~25日の国際議会(ヒロ)に出席。7月30日に帰国。
- ・1985/1986のCS=T.O.F国際プロジェクトのISDに当クラブ谷川国際議員が就任。
- ・日本区大会への当クラブからの出席者.....鈴木兄・鈴木メネット、谷川兄、田中兄・田中メネット、山田兄・山田メネット、中村兄、杉本兄、安福兄 以上10名でした。

NEWS IN BRIEF

●6月1日(土) 中西部、新役員研修会にて研さん。

山田会長、藤井副会長、松本書記、柴田ASF、平田CS、堀IBC、村田ブリテン各委員の7名が出席。灰谷中西部長の方針あいさつに続いて、各担当分野グループに分かれて実務運営の進め方について研究し、熱心に討議。

●6月19日(水) 第1例会

☆灰谷DG挨拶。(要旨) — メンバーが増えない中西部の活性化を。Y'sの本筋はYMCAをサポートすること。Y's manの3つの心がまえは、「休まない、おくれはない、ことわらない」

☆新旧会長挨拶。想い出話と心強い抱負に感銘。

☆日本区大会の報告。3分間スピーチ。

●6月26日(木) 第2例会

☆退会承認。岡本公一兄 6月末日付。勤務の都合。

☆会計に関する役員会臨時召集。7月10日。

☆大阪YMCA安全の日キャンペーンに協力2万円。(例年通り寄付)

●1984—1985年度日本区表彰

表彰25項目のうち、当クラブはBF達成賞(pp100%以上達成クラブ)に入賞。(入賞クラブは51クラブ)

WELCOME!

Guests & Visitors

灰谷隅夫DG(土佐堀クラブ)
工藤 正兄(土佐堀クラブ)
鈴木美藤メネット



・新旧会長交代式
左から 中村前会長
灰谷DG
山田新会長

CENTENNIAL

IBC PACIFIC RIM

CENTENNIAL-NUUANU



NUUANU Y'S UP

NUUANU Y'S MEN'S CLUB NEWSLETTER
1447 PAU HWY • HONOLULU, HI 96813



ANNOUNCING

NUUANU Y'S MEN'S 1985-86 OFFICERS

PRESIDENT - ELDON MACARAYAN

VICE-PRESIDENT - PHYLLIS SAKANE

SECRETARY - GERALD YAMANE

TREASURER - JIMMY OUCHI

ALOHA! HAWAII

YMCA TODAY

▽大阪YMCAでは毎年7月18日を“安全の日”と定め、すべての人々に安全について考えていただくため、ワイズの皆様にもご支援いただき、安全タグを作り配布しておりますことはご承知の通りです。この機にどうぞ安全についてもう一度ご点検下さい。

▽奉仕センター・文化センターでは毎日のプログラムと皆様とのハイタッチな関係を作るため、この6月から“IN TOUCH”と名付けたパンフレットを日本語と英語で発行しています。両センターの受付にありますからご一読の上ご参加下さい。

Bulletin Board

次の資料が入っております。関係者は書記へ問合せ下さい。

- ① 1984～1985年度日本区表彰(詳細)
 - ② “ B F ポイント集計表
 - ③ “ 例会プログラム(予定)2種類
 - ④ “ IBC・YEEP事業方針
 - ⑤ “ 日本区CS事業計画
 - ⑥ “ 日本区CS公報
 - ⑦ UPCプログラム
- 以上

CENTENNIAL EYE

北欧ワイズメンの英語

谷川 寛

毎月私のところに来る手紙の中に、国際ワイズのBF資金支出委員会(BFEC)のヨハン・ヨハンセン委員長からの手紙があります。彼はノールウエイの熱心なワイズメンです。BF代表で日本に来たこともあります。

彼には大変失礼なのですが、私からみても彼の英語はあまり上手だとは思いません。文法も何も無視したかなりひどい英語、



です。この委員長の仕事をしていると忙しく、ゆっくり考えて書いている余裕がないのかもしれない。しかし、相手とは充分通じます。

北欧は小国が多いせいか、外国語を知っているワイズメンがたくさんいます。彼らは最初から自国語が外国人に通用するとは期待していません。クセのあるアクセントの強い、そして完全な英語ではありませんが、自信をもって書き、そして話をしています。ワイズの共通語は、一応、英語となっています。わがセンテニアルクラブも、ハワイをはじめ海外のワイズとのお付き合いが多くなって来ました。一つ、みんなで自信をもって、昔習った英語を思い出して、ぶっつけてゆこうではありませんか。

CALENDAR OF EVENTS



1985～1986 役員 (Officers)

会長	山田 孝彦	会計監査	上月 英子
副会長	森 庄司	担当主事	田中 穰二
"	藤井 保男	幹 事	杉本恭之助
書記	藤本 史郎	"	中村 隆幸
"	松本 常晃	"	山中 秀男
会計	浦野 啓一		

EDITOR'S NOTE

WA I ZU MAN

和井寿 満のひとりごと

割付けると意外やスペース難に悩まされ、一字千金の重みを痛感。早速名著谷崎潤一郎の「文章讀本」を再読。横文字の多いのは、せめて枠組が何のコラムか、ブラザークラブに分るよう配慮。大目付中村委員長と共に、出来る限りいろいろな方に“紙面登場”願うようとりすめています。

(ブリテン担当 村田貞夫 TEL:HOME 0797-32-9204)